

Sasaki

パワーハーベスタ

取扱説明書

必読!

ササキ商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に本書をご熟読され、安全で能率の良い作業を行ってください。

尚、本品の補修用部品の供給年限は、製造打ち切り後9年と致します。但し、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

主要諸元

型 式	HN1250D-4S	HN1250D-3S	HN1250D-0S	HN1250D	HN1250-4S	HN1250-3S	HN1250-0S	HN1250	
適応トラクタKW(PS)	18.4~36.8(25~50)				18.4~36.8(25~50)				
作業巾(cm)	120				120				
作業深さ(cm)	最大30、標準15				最大30、標準15				
作業速度(km/h)	0.5~2.0				0.5~2.0				
作業能率(分/10a)	28~110				28~110				
装着方法	日農工標準オートヒッチ 3P-0,1		標準3P-0,1		日農工標準オートヒッチ 3P-0,1		標準3P-0,1		
機体 寸法	全長(mm)	2200	2200	2020	2090	2290	2290	2110	2180
	全巾(mm)	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400	1400
	全高(mm)	1610	1610	1610	1610	1080	1080	1080	1080
重量(kg)	380	380	365	360	360	360	345	340	
オートドロップ	標準装備				オプション設定				
コンテナ台	オプション設定				標準設定				
マルチツール	オプション設定				オプション設定				

ササキ商品をお買上げいただき、
誠にありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書はパワーハーベスタの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みうえ、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。
- パワーハーベスタはニンニク等の掘り取りをする作業機です。その他の目的で使用しないでください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で安全な作業を行って下さい。安全に作業するため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「▲警告サイン」として説明のつど取り上げております。

- 一般的な注意事項



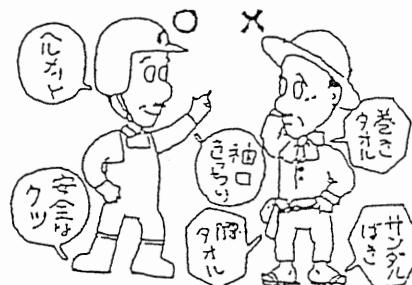
警告 こんなときは作業をしない
過労・病気・薬物の影響、その他の理由により
作業に集中できないとき。
酒を飲んだとき。
妊娠しているとき。
18才未満の人。



警告 作業に適した服装をする
はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘル
メット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に
適した防護具などを付け、だぶつきの無い服装
をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれ
があります。



警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する
取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」
を必ず読むように指導して下さい。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねく
おそれがあります。

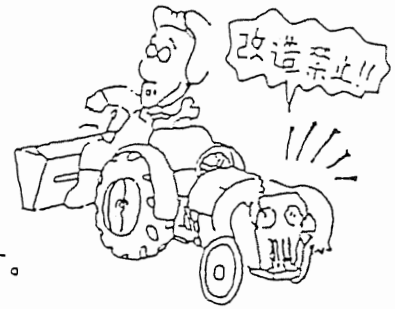


注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。

【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

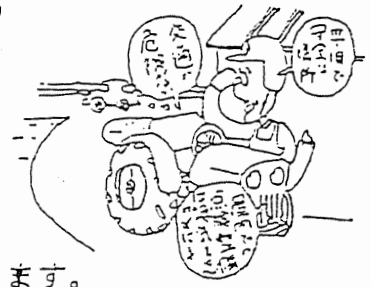


- 作業の前に

警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う
交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない
平坦で安定した場所で、トラクターの前輪には輪止め
をして点検整備をして下さい。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねく恐れがあります。

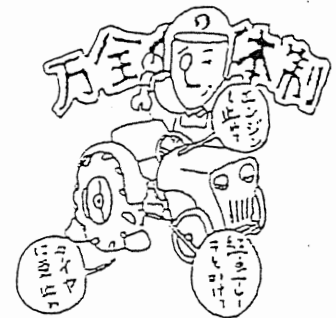


警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または、掃除をするときは、必ず
エンジンを停止してください。

【守らないと】

機械の下敷きになるなど、障害事故をおこすおそれ
があります。



注意

- ・作業の前は点検、整備を行って下さい。
- ・各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認して下さい。
- ・カバー類をはずしたら、必ず取り付けて下さい。


- トラクタへの着脱

警告 作業機の着脱は平坦な場所で行う
作業機の着脱は、平坦で安定した場所で行って下さい。
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

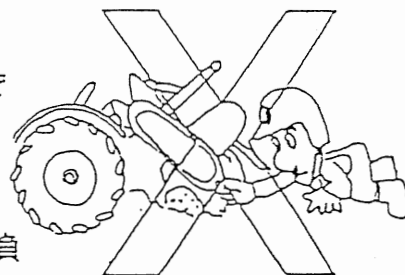
事故を引きおこすおそれがあります。




 **警告** 作業機の下にもぐったり、足を入れ
作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで
ください。

【守らないと】

何かの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を
負うおそれがあります。




 **危険** 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故をおこすおそれ
があります。

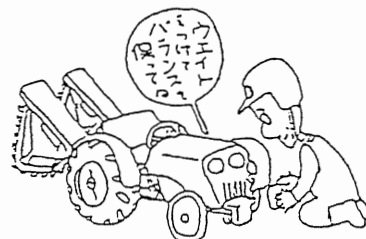



 **警告** 重い作業機を付けるときはウエイトでバランスを取る。

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウ
ェイトを付けて、バランスを保ってください。

【守らないと】


バランスを崩し事故を引き起こすおそれがあります。



 **注意**

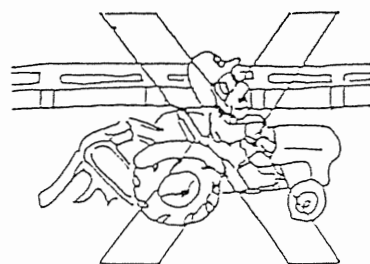
- ・エンジンを止め、駐車ブレーキをかけてPTO変速を中立にしてください。
- ・二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ・ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまったか確認してください。
- ・取付け部の止めピンが全て確実に装着されているか確認してください。


- 路上走行

 **注意** 公道走行時は作業機の装着禁止
公道走行をするときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】


道路交通法違反です。事故をひきおこすおそれ
があります。



 注意

- ・トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ・作業機の回転を止めて走行してください。
- ・トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ・旋回するときは、作業機に人や物が接触しないよう注意してください。
- ・作業機を装着した場合機体寸法が大きくなるので移動走行時は十分注意してください。
- ・溝のある農道や、両側が傾斜している農道では、路肩に充分注意して移動して下さい。

- 圃場の出入り

 注意

- ・圃場に入る時は、必ず前進で速度を下げ、あぜや段差に対して直角に進んでください。（あぜや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。作業機を低くして重心を下げ、直角に進めてください。）

- 作業をしているとき



警告 回転部（爪、刃、軸等）に巻き付いた草等を取る時はエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

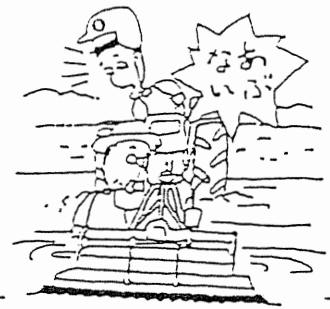




警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない
トラクタを移動して作業機と着脱するときは、トラクタ
の周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

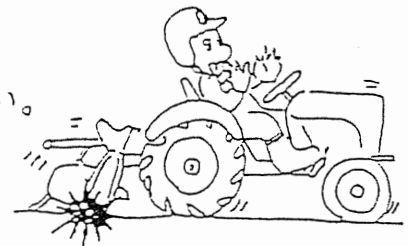
傷害事故をひきおこすおそれがあります。



警告 作業機指定のPTO回転を守る。
低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。
作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



注意

- ・補助作業者がある場合は、動作ごとに合図をかわして下さい。
- ・回転部分など動くところには触れないで下さい。

- トラクタを止めるとき

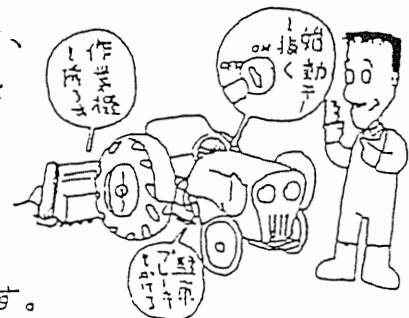


警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンを止める
機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、
エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け輪止めを
してください。


作業機を地面に降ろしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故をおこすおそれがあります。

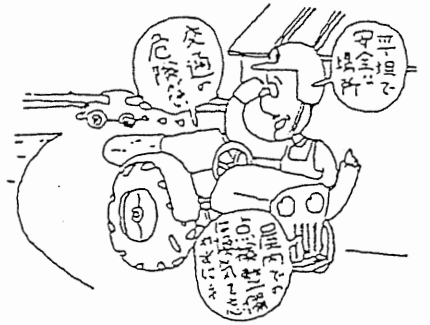


- 点検や格納のとき

 **警告** 点検整備は平坦で安定した場所でおこなう交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止めをして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。




注意

- 点検、整備時はトラクタのエンジンを止めて下さい。
- 機械の下にもぐったり、下で作業しないで下さい。
- キャスターなどが付いている場合、車止めをして作業して下さい。

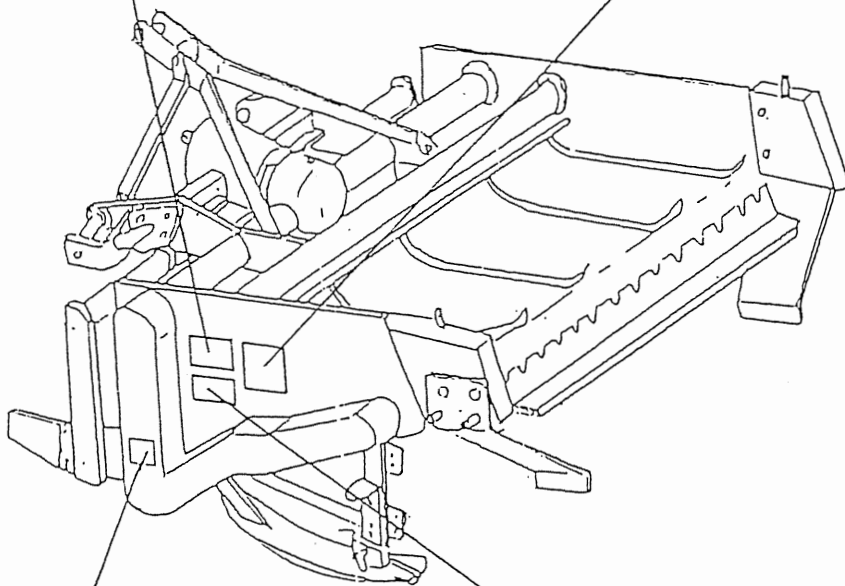
安全銘板貼り付け位置

0000-01210-0

⚠ 危険	
	運転時はジョイントカバーを外さないで下さい。カバーを外して運転すると手が巻き込まれることがあります。 <small>0000-01210</small>

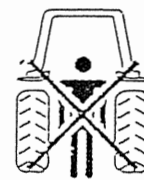
0000-03300-0

⚠ 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・刃の鋭利な部分を注意して、完全に作業して下さい。 ・ボルト、ナットの締め、ピンの取付がないことを確認して下さい。 ・エンジン始動時、開口部に人がいないこと。 ・トラクタとの接触を避け、安全に行ってください。 ・作業中は、所が深く突き当たることを避けてください。 ・作業中、人を近づけないでください。 ・トラクタから離れた時、エンジン停止して下さい。 ・作業中は、開口部エンジン停止して下さい。 ・作業中は、開口部PTOを停止して下さい。 ・作業時カバーの取り外しを避けて下さい。 ・作業時の安全のジョイントを確認して下さい。 <small>0000-03300</small>	



⚠ 注意	
作業時カバーの取り外しは厳禁です。 テーン、ベルトなどでケガをするおそれがあります。 <small>0000-03370</small>	

0000-03370-0

⚠ 警告	
	トラクタのロウリンクの内側及び持ち上げる範囲に入って使用しないで下さい。けがをすることがあります。 <small>0000-02340</small>

0000-02340-0



注意

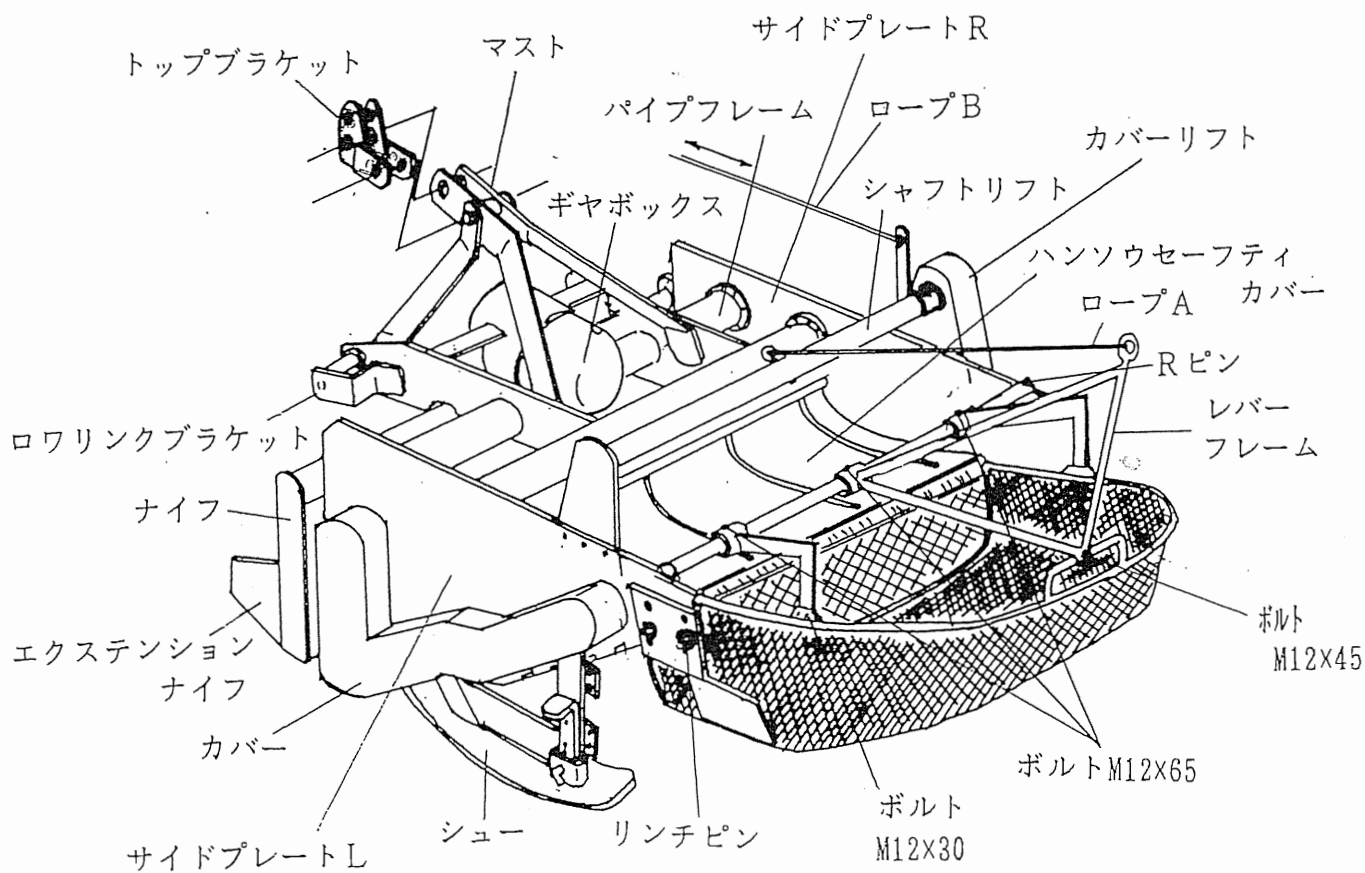
- ・安全銘板ラベルが破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手記の上、貼り直して下さい。
- ・新しいラベルを貼る場合は、汚れを完全にふき取って、乾いた面にしてもとの位置に貼って下さい。

1. 各部の名称(オートドロッパー仕様)

梱包状態

本体	1	
ロウリンクブラケット	左右各1	3S、4S、0Sのみ
レバーフレーム	1	B、N付
エクステンションナイフ	2	B、W、N付
オートヒッチ	1	3S、4Sのみ
ジョイント	1	AS100-CV550 3S、標準3Pのみ
ジョイント	1	4S用ジョイント、4Sのみ

トップブラケット	1	標準3P仕様のみ
----------	---	----------

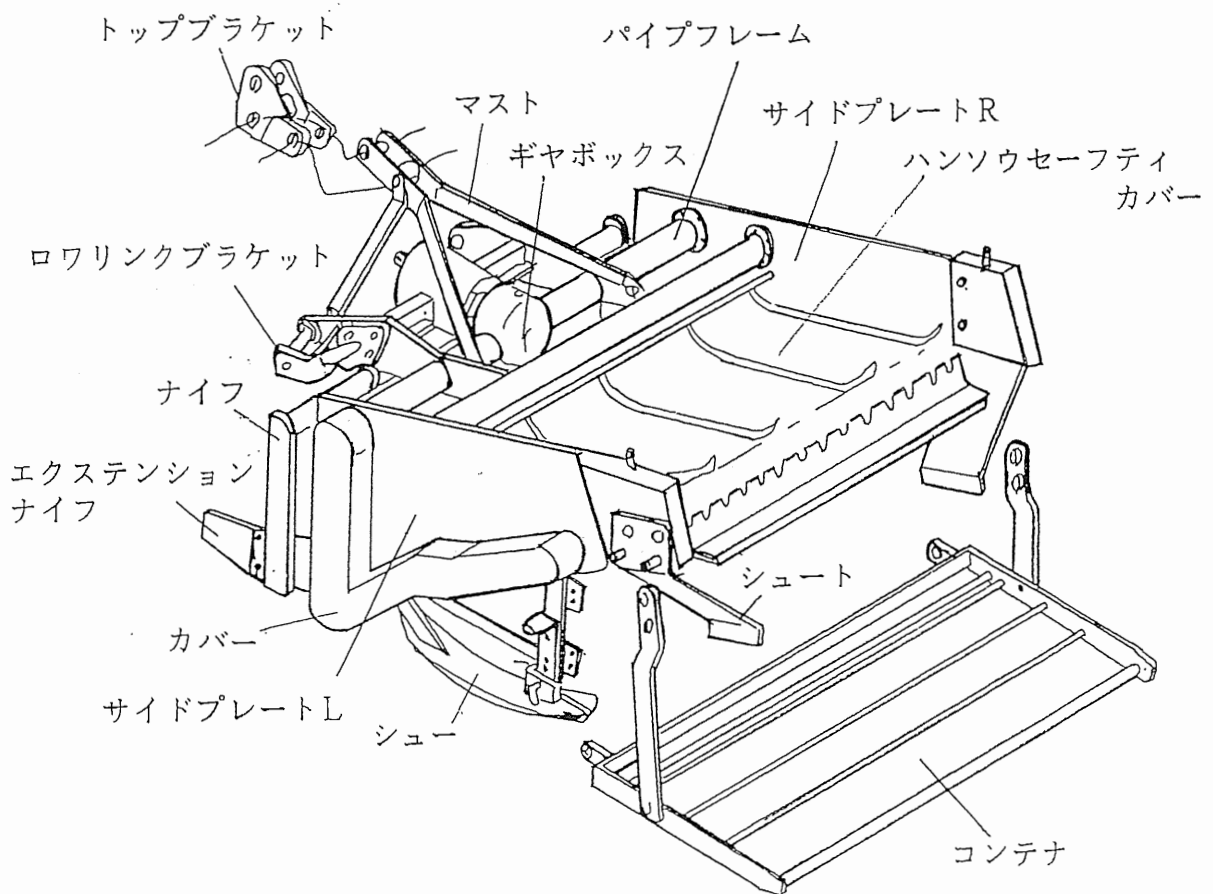


1. 各部の名称(コンテナ台仕様)

梱包状態

本体	1	
ロワリンクブラケット	左右各1	3S、4S、0Sのみ
コンテナ台	1	リンチピン付、コンテナ台仕様のみ
エクステンションナイフ	2	B、W、N付
オートヒッチ	1	3S、4Sのみ
ジョイント	1	AS100-CV550 3S、標準3Pのみ
4S専用ジョイント	1	4Sのみ

トップブラケット	1	標準3P仕様のみ
----------	---	----------



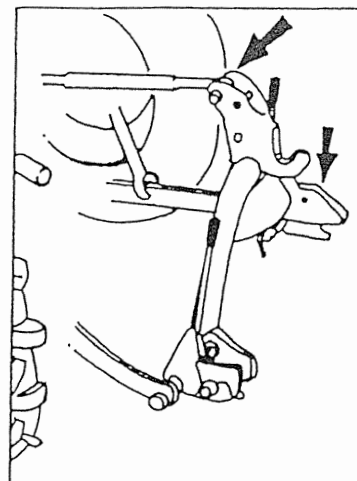
2. オートヒッチ装着方法

⑤ ユニバーサルジョイントの長さはトラクタにより異なりますので、装着する前に必ず販売店にご相談下さい。

⑥ 作業機の着脱は平坦地で行い、周りに人がいないことを確かめてから行って下さい。

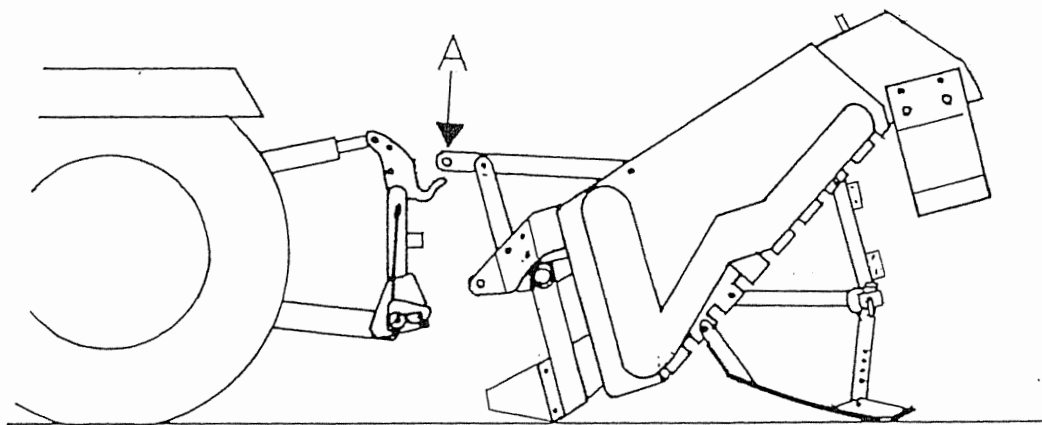
① オートヒッチを図のようにトラクタに装着して下さい。

⑦ 必ずエンジンを止めて行って下さい。

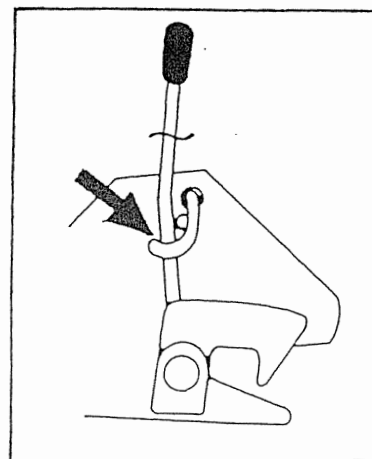


② トラクタ油圧によりトップリンク部のフックを、作業機のAの部分にひっかけて吊り上げて下さい。この時、レバーを立てて下さい。自動的にロウリンクも結合されます。

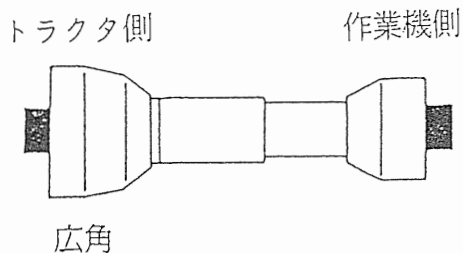
⑧ シューはあらかじめ図のように一番下げておいて下さい。



③ レバーをロックして下さい。



④ユニバーサルジョイントを装着して下さい。

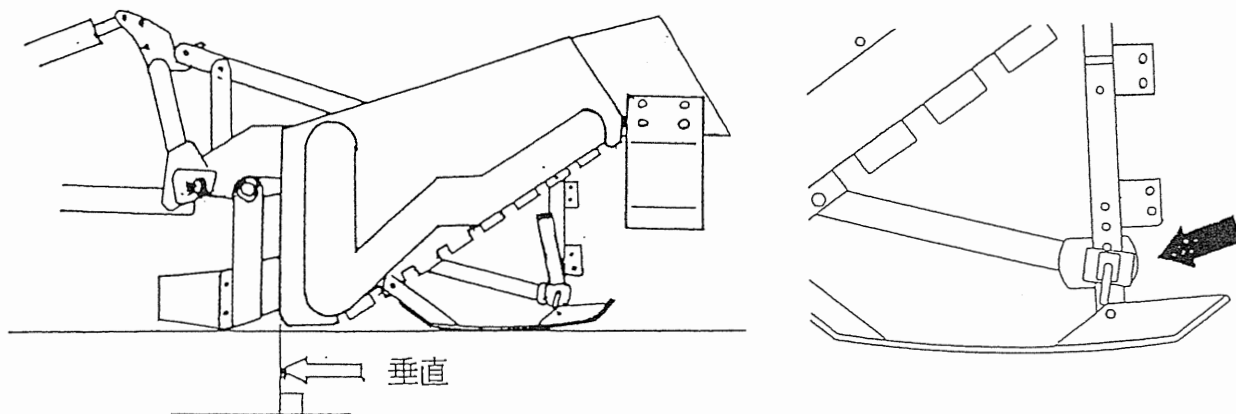


⑤ジョイントのカバーが回転しないように、付属チェーンをトラクタ又は作業機に固定して下さい。

⑥トラクタのチェックチェーンを左右均等に張って下さい。

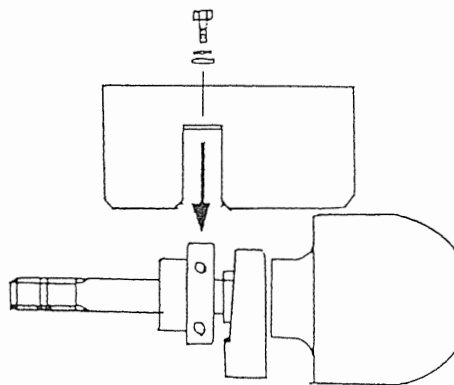
⑦作業深さに応じてシューの高さを調整して下さい。

又、トップリンクで、作業姿勢を調整して下さい。サイドプレート前端が地面と垂直な姿勢が標準です。トップリンクを長くすると浅くなり、短くすると深くなりますので、土の条件に合わせて決めて下さい。



⑧脱着時は、シューを一番下げて、装着と逆の順序で行って下さい。

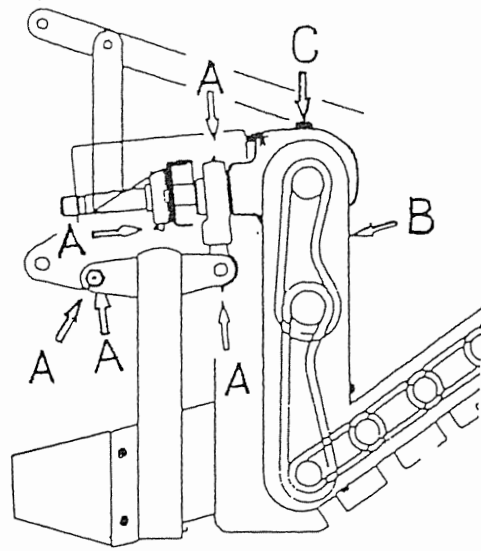
⑨ 日農工標準オートヒッチが4Sの場合は、専用ジョイントを使用していますので、安全カバーを図のように逆向きに付け変えて下さい。



3. 給油

給油箇所

- A : グリースニップル5カ所
作業前に補給
- B : チェーンケースカバー内各チェーン
シーズン始めにグリースを塗布
- C : ギヤボックス
ギヤオイル# 80 1.2ℓ
1回目20時間後
2回目以降100時間毎
その他ユニバーサルジョイントのグ
リースニップル2カ所 作業前に補給



4. 作業時の注意

- (1) P T O回転数は300～400 rpmの範囲で使用して下さい。
- (2) 作業速度は0.5～1.5 km/hが標準ですが、作物の状態や土の条件に合わせて決めて下さい。
- (3) P T Oクラッチを入れる時は、エンジン回転を低速で入れ、徐々に回転を上げて下さい。
- (4) 作業中、本機を下げたまま旋回はしないで下さい。
- (5) 本機を上げたままP T Oを高速回転しないで下さい。

5. 移動方法

作業終了後、P T Oクラッチを切り、エンジンを止めてから本機を清掃し、移動して下さい。

㊟ 移動時には絶対にP T Oクラッチを入れないで下さい。

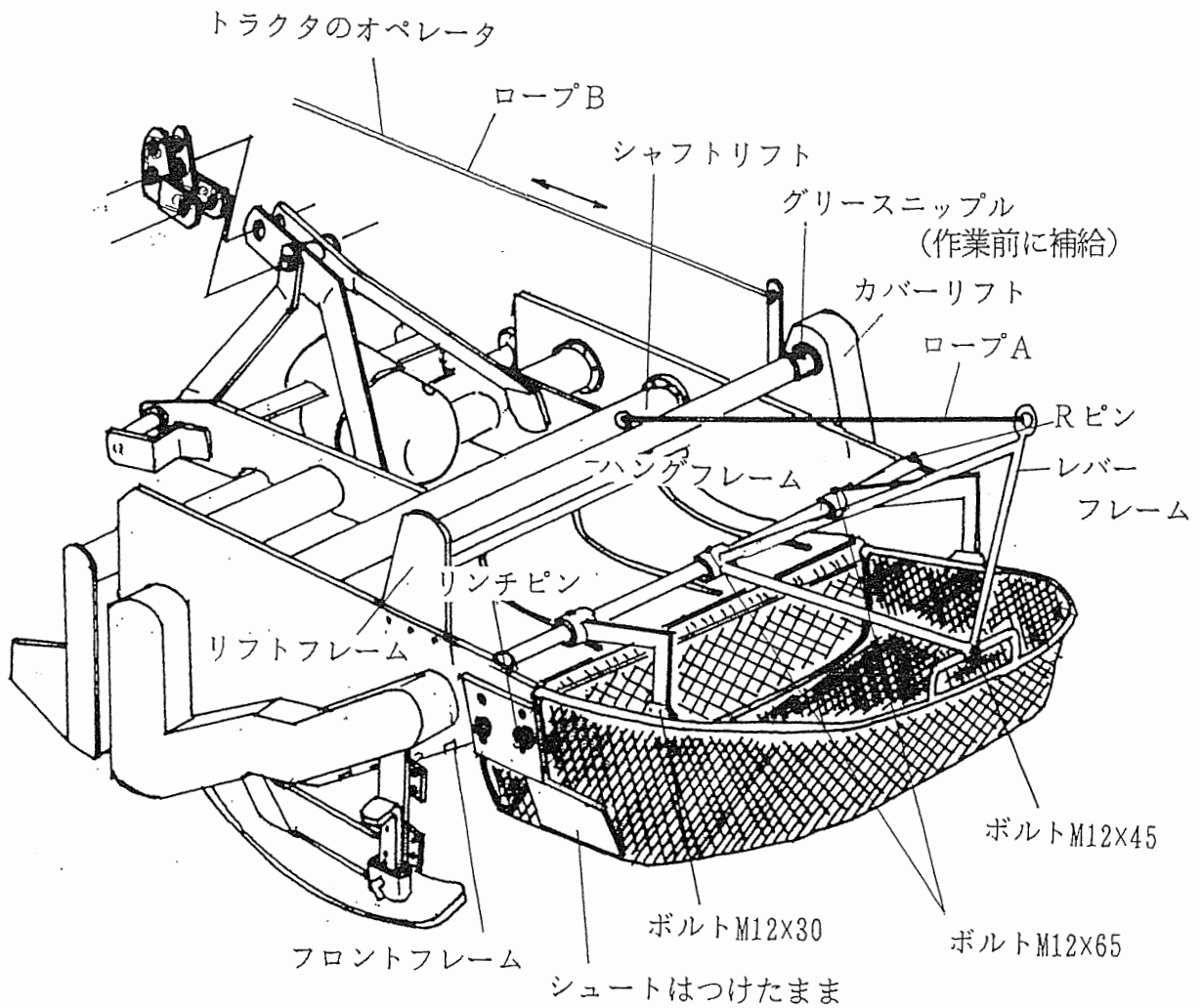
6. 保守管理

- (1) 作業終了後には、本体をよく清掃し、各滑動部に給油して下さい。
- (2) ボルト・ナット類の緩み及びピン類の脱落がないか点検して下さい。
- (3) 作業シーズン終了後の保守管理は次の点にご留意下さい。
 - ① 各部の清掃を完全に行い、給油箇所はすべてに給油して下さい。
 - ② 各部を点検し、損傷した部分があれば早めに修理または部品の交換をして下さい。
 - ③ 格納する場合には、必ず台の上に置き、湿気やゴミのない場所に安定よく格納して下さい。

7. オートドロッパーについて

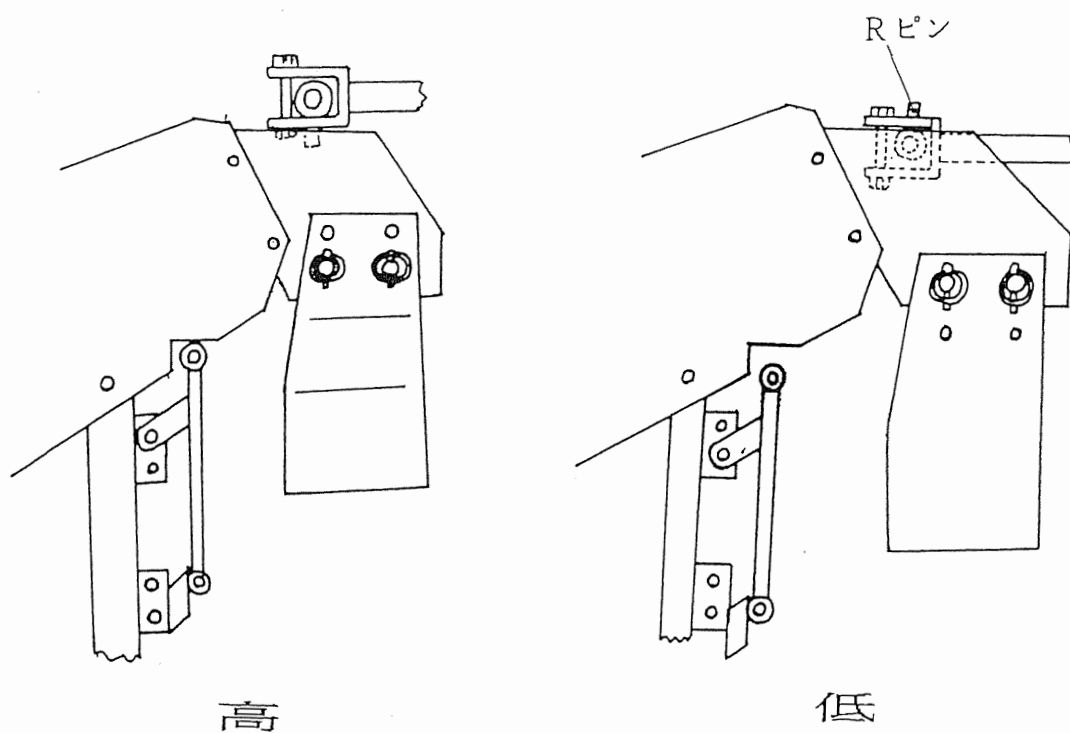
オートドロッパーを使用する場合は、図の様に組み立てて下さい。

リフトレバーのロープを操作することによって、トラクタに乗ったままで、ドロッパーの開閉ができます。

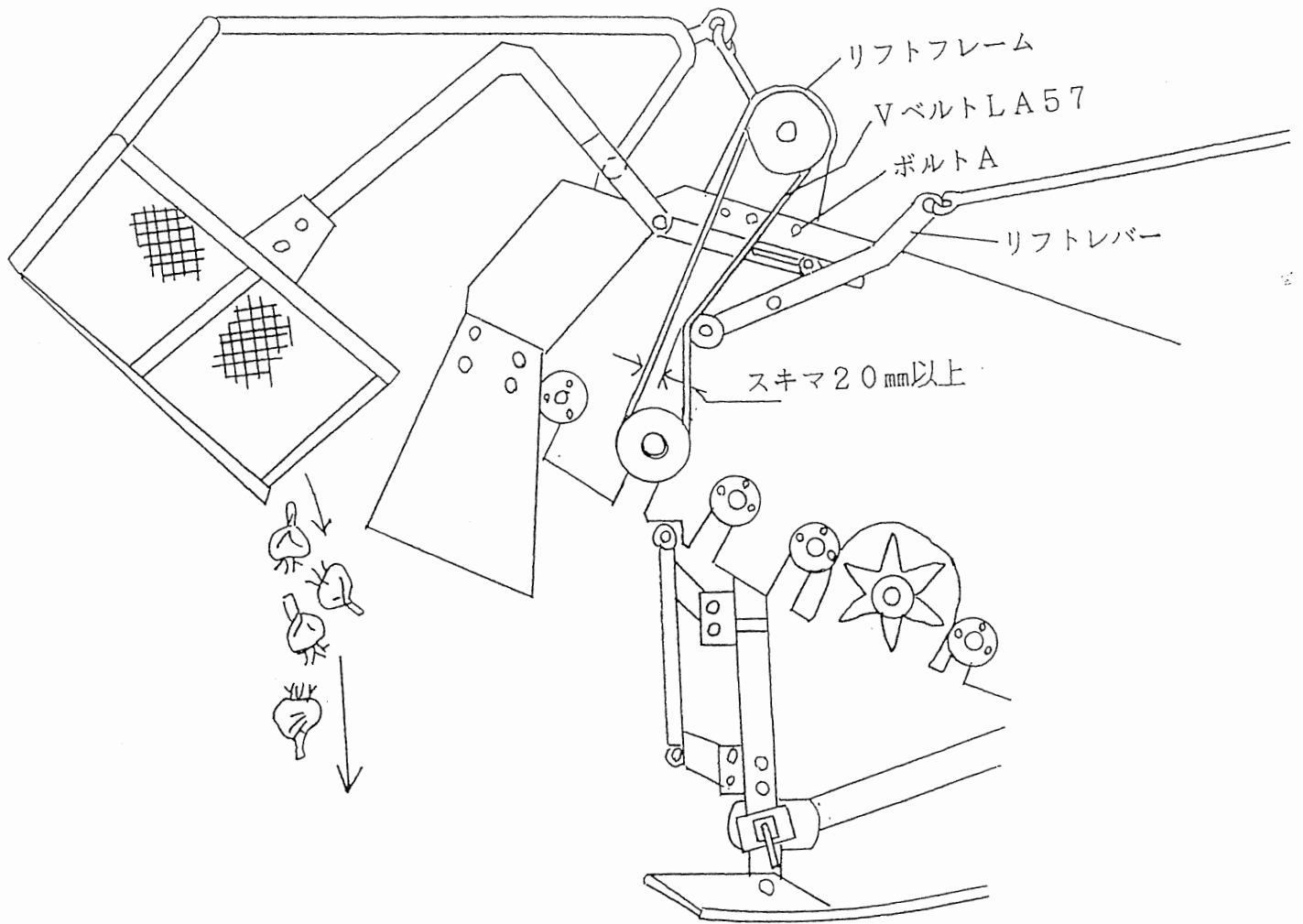


積載量は、長イモコンテナ3個分です。ドロッパーに入れ過ぎますと、トラクタ前輪が浮き上がり非常に危険ですので積み過ぎに注意して下さい。

畦の高さに合わせて、高さが2段調整できます。



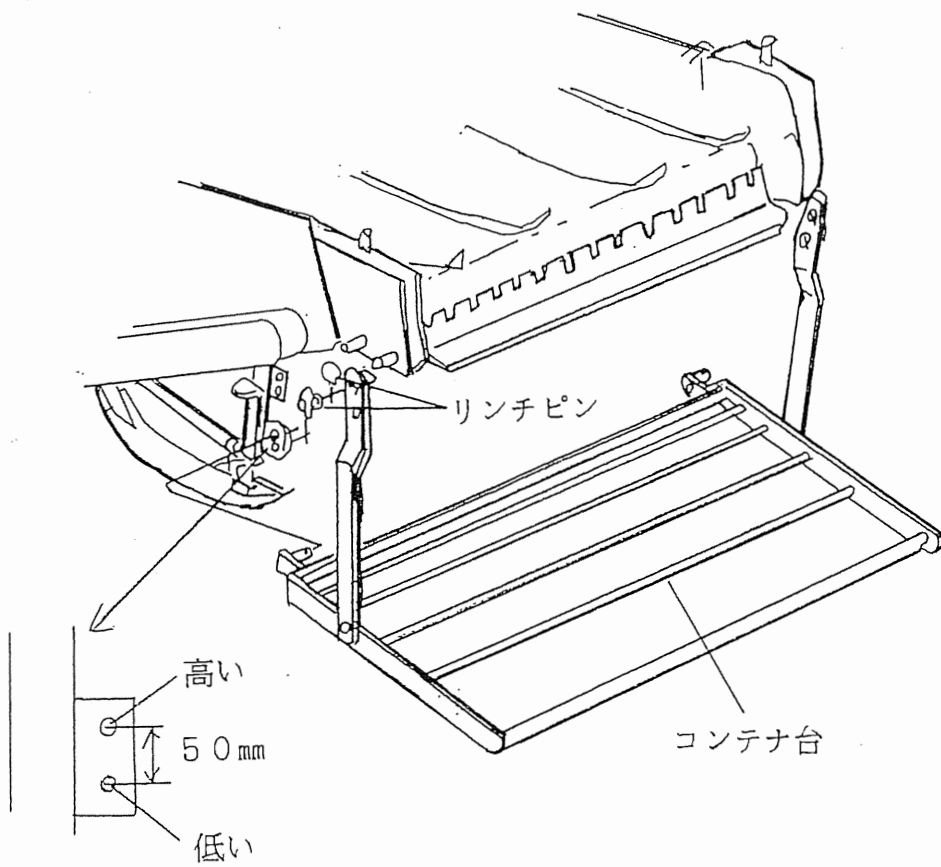
☆シーズン終了後は、Vベルトの張りを調整して下さい。
リフトレバーを引いて、スキマが20mm以上ある様にボルトA（左右計6ヶ所）
をゆるめてリフトフレームを上にはずらして調整して下さい。



調整代がなくなったりVベルトの損傷がある場合は新しいVベルト（LA57）
《オレンジ》と交換して下さい。

8. コンテナ台について

コンテナ台を使用する場合は、下図のように組み立て、シュートは取り外して下さい。積載出来るコンテナは20kg入コンテナ3ヶまでで、全積載重量を60kg以下にして下さい。畦の高さに合わせて、高さが2段調整できます。





株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島六枚田1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510